

ECOPAドリームプロジェクト 自動運転実証 (第2弾)



ハンドルやブレーキのない特殊車両が 一般車両との混合交通に挑戦！

2020.2.28静岡新聞（朝刊）

県内初



公道を走る実験車両
＝27日午前、袋井市（写真の一部を加工しています）

ハンドルとブレーキなし 公道走行、県内初

県地域交通課の大倉篤課長は「将来的に公共交通に導入することが目的。この実験を今後に生かしたい」と話した。（袋井支局・仲瀬駿介）

実証実験に使用したの「コンチネンタル・オーはプロジェクトに参画し「トモタイプ（横浜市）」ている自動車部品メーカーの実験車両。11人乗りの

小笠山周辺、県と袋井市

袋井市の小笠山総合運動公園周辺で27日、ハンドルやブレーキが無い「特別装置自動車」による自動運転の実証実験が行われた。県と市の共同プロジェクトの一環で、特別装置自動車が公道を走るのは県内初。

特別車で自動運転実証



バス型自動車に6人を乗せ、片道1.5kmの道のりを時速12km程度で往復した。車両は高精度3D地図を用いて自動走行し、一般車両との混合交通や、横断歩道での一時停止の動作の正確性などを確認した。

プロジェクトは2018年、近未来技術の活用を目指して始まった。今

後も自動運転の実証実験

を継続し、実験のレベル

を上げながら技術の向上

を図る。

県地域交通課の大倉篤

課長は「将来的に公共

交通に導入することが

目的。この実験を今後

に生かしたい」と話し

た。

（袋井支局・仲瀬駿介）

実験概要

【目的】
自動車関連企業の自動運転等の開発を促進するため、実験フィールドを提供

【時期】

2020年2月13日～3月31日
(2/13 2/26 2/27を予定)

【特徴】①特殊装置車両を用いた公道実験を実施
②一般車両との混合交通、社会受容性を確認

小笠山総合運動公園



実験フィールド

高精度3D地図を整備済



開発中の車両走行が可能

園内において、高精度3D地図を用いた特殊装置車両による自動運転走行を実現

【今回の実証のポイント】

特殊装置車両の道路使用許可の承認により、一般車両との混合交通下の走行を実現



コンチネンタル・オートモティブ(株)

2019年度実験（実験場：袋井市）



■ 手動許可コース
■ 手動+自動許可コース

許可期間 2020年2月13日～3月31日（走行期間 2/13 2/26 2/27 2/28を予定）

許可車両 コンチネンタルオートモティブ(株) Self Driving Car

許可範囲 小笠山総合運動公園内園路

許可内容 **自動運転の公道実証実験に係る道路使用承認許可**（特殊装置車両※）

※ハンドル・ブレーキとは異なる特別な装置で操作する自動車

試験内容 1/8（中部免許センター）1/10（エコパ手動試験）**2/26-28（エコパ自動試験）**

効果 **園内を封鎖しなくとも、一般車両との混合交通が可能**となることから、技術開発が必要な特殊装置車両等を公道と同条件で走行する事が可能